

平成27年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	バリアフリー・ユニバーサルデザイン施策推進経費			担当部局庁	政策統括官(共生社会政策担当)			作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総合調整第2担当			参事官 福田 由貴	
会計区分	一般会計			政策・施策名	53バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する広報啓発、調査研究等(政策13-施策⑧)				
根拠法令(具体的な条項も記載)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱(平成16年6月1日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)			関係する計画、通知等	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領(平成13年11月6日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)				
主要政策・施策	高齢社会対策、障害者施策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績の者を顕彰し、その優れた取組を広く普及させること等を通じ、バリアフリーやユニバーサルデザインが当然のこととして理解され、共生社会の実現が図られることを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、顕著な功績又は功労のあった個人又は団体に対して、内閣総理大臣表彰又は内閣府特命担当大臣(高齢社会対策又は障害者施策担当)から表彰し、事例集を作成してホームページでの公表等により普及を図るとともに、インターネットによるバリアフリー化に関する意識調査を実施。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算状況	当初予算	6	5	5	5			
		補正予算	▲0.1	—	—	—			
		前年度から繰越し	—	—	—	—			
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—			
		予備費等	—	—	—	—			
		計	5.9	5	5	5	0		
	執行額	3	3	3					
執行率(%)	50%	60%	60%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 — 年度	
	バリアフリーの認知度を100%にする	バリアフリーの認知度	成果実績	%	92.6	91.3	94.1		
			目標値	%				100	
			達成度	%	92.6%	91.3%	94.1%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック									
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	インターネットによるバリアフリー化に関する意識調査	活動実績	回数	—	1	1			
		当初見込み	回数	—	1	1	1		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰	活動実績	回数	1	1	1			
		当初見込み	回数	1	1	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	X=インターネットによるバリアフリー化に関する意識調査作成経費の決算額/Y=作成回数	単位当たりコスト	百万円	—	1	1	2		
		計算式	X/Y	—	1.0/1	1.0/1	2.0/1		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	X=バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰経費の決算額/Y=作成回数	単位当たりコスト	百万円	2.6	1.8	2	2.6		
		計算式	X/Y	2.6/1	1.8/1	2.0/1	2.6/1		
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	2.4							
	職員旅費	0.3							
	委員等旅費	0.7							
	庁費	1.2							
	計	4.6	0						

事業所管部局による点検・改善

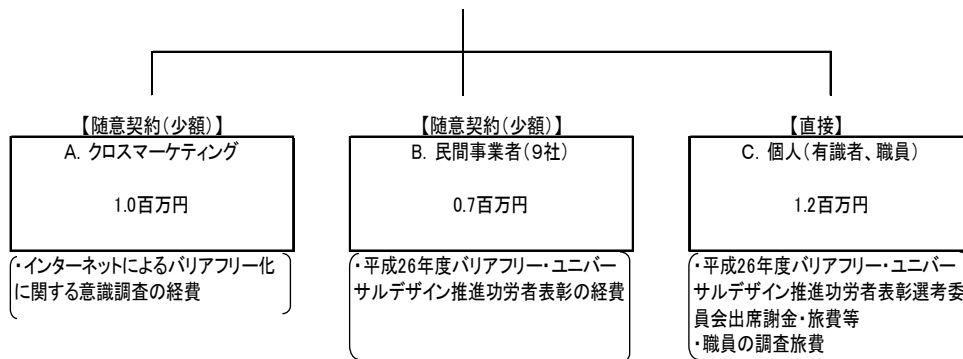
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、顕著な功績又は功労のあった個人又は団体に対して、内閣総理大臣表彰又は内閣府特命担当大臣から表彰し、事例集を作成してホームページでの公表等により普及を図るとともに、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱(以下「推進要綱」という。)に基づき、インターネットによるバリアフリー化に関する意識調査(以下「意識調査」という。)を実施しており、社会のニーズを反映したも のとなっている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する関係関係会議決定に基づき、表彰に関する事務を、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行うこととなっている。また、意識調査については、推進要綱に基づき関係省庁が一体となし施策を推進していくこととなっており、地方自治体、民間等に委ねることは出来ない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する関係関係会議決定に基づき実施するものであり、優先度の高い事業である。また、意識調査について推進要綱に基づき施策の進捗状況のフォローアップを実施するものとなっていることから優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	平成25年度まで外部発注により実施した「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の支援業務(選考委員会資料作成、委員会開催準備、表彰、事例集作成等)」については、外部発注を止め、職員のみで実施している。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	平成25年度まで外部発注により実施した「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の支援業務」については、外部発注を止め、職員自ら行うことによりコスト削減を図っている。また、意識調査については、複数の業者からの見積合わせを行うなどコスト削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰及び意識調査の実施に必要な経費限定して予算計上し執行しているものであり、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	職員旅費や委員等旅費については、パック等の利用や合理的・経済的な執行を行うことによる差額及び「推進要綱」見直しを行うため計上した調査経費となるが、意識調査の結果として推進要綱の見直しをしなかったためである。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰においては、最小限度の人員による合理的・効率的な旅費の執行に努めているとともに、平成25年度まで外部発注により実施していた「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の支援業務については、外部発注を止め、職員が直接執行することによりコスト削減を図っている。	
事業の有	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	バリアフリーの認知度は、90%以上の達成度であり、成果実績は成果目標に見合ったものである。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の支援業務については、外部発注を止め、職員が直接執行する等の方法により低コストでの実施を図っており、他の手段・方法等は考えられないが、職員、委員等の旅費の執行については、引き続き、適正な執行に努めていく。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進経費として計上している予算は、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に係る経費及び意識調査を実施する経費であり、見込みと予算執行は合致するものとなっている。

効性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○ ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン功労者表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組みを広く普及させることを目的としており、受賞者やバリアフリー・ユニバーサルデザインに関する活動を行う団体は更なる活動意欲が増進され、バリアフリーに関する認知度及びユニバーサルデザインに関する認知度を高め、高齢者・障害者を含めたあらゆる人々が安全で快適な社会生活が送れる社会システムの構築の一役を担うこととなる。 ・また、意識調査を実施することにより、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する認知度を把握し、要綱における数値目標での達成度合いを確認している。 ・これらの事業成果については、HP等に掲載することにより広く関係者等に利活用して頂いているところである。			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
関連事業	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰については、外部発注を止めて職員による直接実施にするなど、コスト削減に努めているところ。 ・意識調査については、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する認知度等を把握し、広く国民の理解の促進・拡充方を広めることに寄与している。今後、調査項目等を含め充実した調査内容となるよう更なる検討が必要である。 				
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、予算の効果的・効率的な執行に努める。 				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	0128	平成23年度	0129	平成24年度	0125	
平成25年度	0086	平成26年度	0082			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府政策統括官
(共生社会政策担当)
3.0百万円

・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の選考、表彰式を実施し、受賞事例集を作成・公表するとともに、国民の理解度を図るための調査を実施。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)クロス・マーケティング			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役員費	調査・集計等	0.9			
その他	消費税	0.1			
計		1	計		0
B.(株)双文社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進 功労者表彰・選考委員会資料 印刷	0.2			
その他	消費税	0			
計		0.2	計		0
C.有識者A			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委員等旅費	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進 功労者表彰現地調査等旅費	0.1			
諸謝金	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進 功労者表彰選考委員会議出席謝金	0			
計		0.2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.(株)クロス・マーケティング

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)クロス・マーケティング	インターネットによるバリアフリー化に関する意識調査	1	随契(少額)	—

B.民間事業者(9社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)双文社	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰・選考委員会資料印刷	0.2	随契(少額)	—
2	(有)丸の内常盤家	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰(懇親会経費)	0.1	随契(少額)	—
3	扶桑速記印刷(株)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会における速記	0.1	2者	—
4	社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会 東京手話通訳等派遣センター	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(手話通訳料 ほか)	0.1	随契(少額)	—
5	(株)天賞堂	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(盾の購入)	0.1	随契(少額)	—
6	ニッコー観光バス(株)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(バス借上げ)	0.1	随契(少額)	—
7	(株)東京書技房	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(揮毫、筒の購入)	0	随契(少額)	—
8	(株)東京写真イメージング	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰に要する経費(写真)	0	随契(少額)	—
9	サントリービバレッジサービス(株)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会における飲料	0	2者	—

C.個人(有識者、職員)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.2	—	—
2	有識者B	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	—	—
3	有識者C	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	—	—
4	職員a	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰現地調査 旅費	0.1	—	—
5	有識者D	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	—	—
6	麹町税務署	所得税	0.1	—	—
7	有識者F	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	—	—
8	有識者G	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	—	—
9	有識者H	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員 謝金・旅費	0.1	—	—
10	職員b	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰現地調査 旅費	0.1	—	—

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック